

収益が上がれば社員に報いるべきだ！

3月2日第3回団体交渉(賃上げ交渉)での会社の回答について再考する。

組合:社員の努力によりこの間の実績を積み重ねている。過去10年前の決算と比較すると純利益は3倍の3,140億円であり、経常利益は2倍である。しかし、人件費は横ばいである。充分支払い能力はある。

会社:人件費は社員構成などがあり比較は一概にできない。

組合:純利益が上がっているのにも関わらず賃金は上がっていない。この間の貯め込みがあるのではないか。

会社:将来を見据えた投資に使っている部分もある。さらに会社は社員に対して給与や賞与で充分評価をしている。高い水準であり社員に報いている。

この交渉経過で言うなら「**どんなに収益が上がっても現在の賃金は高い水準であり社員に報いている**」と言っている。どこの会社だって収益が上がれば社員に還元するのが当たり前だ。それがやる気を生むからだ。会社の言動を解釈するなら「**今後は世間的に比較して賃金水準が低いと判断した時に賃上げを考える**」ということになる。これで社員に報いていると胸を張って言えるか？

ちなみにトヨタ自動車はベア 2,000円アップで定昇 7,300円を含めると 9,300円の賃上げ回答をしたようだ。JR東海がベースアップを否定するかのような回答内容にあなたは満足できますか？